

# 平成28年 死亡災害の概要

神奈川県労働局  
確定版

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
1	1月 9時頃	鉄鋼業 300名～	クレーン 墜落、転落	屋外に設置されている天井クレーンの保守のため、クレーンの運転室に入ろうとした際に、被災者が乗っていた点検歩道への通路が傾き20m下の地面に墜落した。
2	1月 10時頃	食料品製造業 100名～299名	はしご等 墜落、転落	高さ3.4mの配管継ぎ手フランジパッキンの破損状況確認のため、高さ4.2mの脚立の上部から3段目に乗って、開放作業をしていたところ、約2.4m墜落した。
3	1月 17時頃	その他の事業 50名～99名	その他の建設機械等 交通事故(道路)	建築現場で警備の業務を行っていた被災者が、コンクリートポンプ車を洗車場所へ誘導中に、当該ポンプ車に激突された。
4	2月 15時頃	その他の建設業 10名～29名	送配電線 墜落、転落	高さ59.9mの送電線用鉄塔の骨組み部材を一部取替える作業においてアングル上を移動していた被災者が高さ約24.3m地点から地上に落下した。
5	3月 13時頃	建築工事業 1名～9名	足場 墜落、転落	4階建て共同住宅の改修工事において、荷を屋上にあげるため足場に設置したウインチを移設する作業をしていた際、荷を屋上に引き入れるために足場の手すりを取り外してできた足場外側の開口部から、11.2m下の地面に墜落した。
6	2月 3時頃	道路旅客運送業 50名～99名	乗用車、バス バイク はさまれ、巻き込まれ	被災者が運転していたタクシーを所定の場所に駐車させようとしていた際、タクシーのドア内側と事業場の駐車場の柱に挟まれた。

死亡事案の発生状況等の概要速報については、掲載内容は未確定のものであり、調査の進展とともにその変更（業務に起因しない場合における事案の削除を含む）を行う可能性があります。

7	4月 9時頃	土木工事業 10名～29名	掘削用機械  激突され	ドラグショベルによる掘削作業中、1.5mの深さまで掘削を終え、掘削溝内に土止め用鋼矢板を設置するために鋼矢板の上部をドラグショベルのバケットで押し込んでいたところ、バケットが鋼矢板から外れて、掘削溝内にいた被災者に激突した。
8	4月 10時頃	建築工事業 1名～9名	足場  墜落、転落	木造2階建てのリフォーム工事において、足場の組立作業中、2層目の手すりを取り付けていたところ、約4mの高さから墜落した。
9	5月 19時頃	道路旅客運送業 300名～	乗用車、バス バイク  はさまれ、巻き込まれ	送迎バスの運転者である被災者が、乗客を降ろしてから次のバスの発車時刻まで待機している間に、バスと建物の間に挟まれたもの。バスはサイドブレーキがかかっていたが、エンジンがかかり、シフトレバーがドライブに入っていた。
10	3月 10時頃	その他の事業 10名～29名	乗用車、バス バイク  激突され	病院の駐車場における案内の業務中、駐車場内の車両が急発進して激突された。
11	5月 14時頃	港湾運送業 10名～29名	ストラドルキャリアー  はさまれ、巻き込まれ	船積するコンテナの四隅にロックを取付けする作業中の労働者2名が、先積コンテナの前で待機していた際、次のコンテナを運搬するストラドルキャリアーが接近し、1名は側方に避難したが、被災者は逃げ遅れ地上に伏せたが、ストラドルキャリアーの運転者が被災者に気付かずコンテナを巻き下げたため、被災者はコンテナと地上の間にはさまれた。
12	5月 14時頃	道路貨物運送業 30名～49名	玉掛用具  飛来、落下	被災者が木造建築工事現場に搬入した野地板（総重量600kg）を現場敷地内に仮置きするため、別事業場の作業者が移動式クレーンで荷下ろし作業を行った際、荷が落下して被災者に激突した。
13	5月 11時頃	清掃・と畜業 10名～29名	はしご等  墜落、転落	高さ約6mの排煙用ガラス窓をはしごを使用して清掃中、バランスを崩して墜落、3日後に搬送先病院で死亡した。

死亡事案の発生状況等の概要速報については、掲載内容は未確定のものであり、調査の進展とともにその変更（業務に起因しない場合における事案の削除を含む）を行う可能性があります。

14	6月 20時頃	その他の建設業 1名～9名	クレーン はさまれ、巻き込まれ	スタッカードレーンのケーブル取替工事において被災者が上から下されるケーブルの長さを確認する作業中に、他の作業者がクレーンを約1m前進させた際、クレーン制御盤と柱とのすき間に挟まれた。
15	7月 21時頃	建築工事業 10名～29名	乗用車、バス バイク 交通事故(道路)	現場から帰宅のため、社用車に3人が同乗して会社指定の駐車場に戻る途中、自動車専用道路を走行中にタイヤがパンクしたため路肩に駐車し、被災者が右後輪に輪留め作業中、後方から来た乗用車にひかれた。
16	9月 9時頃	その他の事業 10名～29名	その他の危険物 有害物等 爆発	ボンベ内の液化酸素を別の空ボンベへ移充填(移し替える)するために、移充填元のボンベと移充填先のボンベをホースで繋いで移充填作業を行っていたところ、移充填元のボンベが爆発した。
17	10月 15時頃	清掃・と畜業 1名～9名	その他の用具 墜落・転落	ロープとブランコを用いて、5階建てビルの窓の清掃作業を行っていたところ、メインロープを緊結した配管ラックが滑動してメインロープが外れ墜落した。
18	10月 14時頃	その他の建設業 10名～29名	屋根、はり、もや、けた、合掌 墜落・転落	太陽光パネルの設置のため2階建て建物の屋根に上がって作業中に、約7m下の駐車場に墜落した。搬送先の病院で2日後に死亡した。
19	11月 15時頃	土石採取業 1名～9名	石、砂、砂利 崩壊、倒壊	砂の一時堆積場からトラクターショベルで砂をダンプトラックに積み込み、砂利加工プラントへ運ぶ作業中に、ダンプ運転手が堆積場へ戻ったところ、砂に埋まった被災者を発見した。被災者はなんらかの理由により運転席から降りて堆積場に近づいたと推測される。
20	10月 19時頃	その他の建設業 10名～29名	フォークリフト 墜落・転落	客先の工場設備の機械更新工事において、当日の作業を終えて退出する際に、客先工場のシャッターが閉まらなくなったため、フォークリフトを使用して高さ約3.5mの高所でシャッターの修理中に墜落した。

死亡事案の発生状況等の概要速報については、掲載内容は未確定のものであり、調査の進展とともにその変更（業務に起因しない場合における事案の削除を含む）を行う可能性があります。

21	11月 19時頃	小売業 10名～29名	人カクレーン等  飛来、落下	自動車マフラーの取り替えのため、パンタグラフジャッキを用いて車体を浮かせて車体の下に入り、マフラーのフランジ部分のナットを緩めていた際、車体が揺れたはずみでジャッキが外れ車体の下敷きになった。
22	11月 8時頃	土木工事業 1名～9名	移動式クレーン  激突され	車両積載型トラッククレーンの荷台から、建設機械を当該クレーンを用いて荷台側方に降ろしている際にトラッククレーンが転倒して下敷きになった。
23	11月 11時頃	林業 10名～29名	木材、竹材  崩壊、倒壊	森林環境保全業務において、現場代理人と被災者の2名作業を行っていた際、現場代理人が全幹材を運搬する作業、被災者が全幹材を仮積みする作業を行っていた。現場代理人が全幹材の運搬のため離れていた現場に戻ると、仮積みしていた全幹材（長さ16～18m、約30本）が崩壊し、被災者がその下敷きとなっていた。
24	12月 5時頃	道路貨物運送業 50名～99名	トラック  交通事故(道路)	中型トラックに乗って商品の積込み先へ向かう途中、緩やかな左カーブを曲がりきれずに反対車線にはみ出し、対向車（大型トラック）と正面衝突した。
25	5月 8時頃	その他の事業 10名～29名	その他  起因物なし	客先店舗での納品作業中に体調不良を訴え、車の荷台で休んでいたが、意識不明の状態で見送られ、搬送先の病院で死亡した。過重労働によるものとして労災認定された。
26	4月 10時頃	電気機械器具製造業 30名～49名	その他  起因物なし	事業場内の作業場で縊死しているところを発見された。過重労働によるものとして労災認定された。
27	12月 7時頃	卸売業 10名～29名	交通事故(道路)  トラック	配送のため軽貨物車を運転中、道路脇の立木に激突した。

死亡事案の発生状況等の概要速報については、掲載内容は未確定のものであり、調査の進展とともにその変更（業務に起因しない場合における事案の削除を含む）を行う可能性があります。

28	8月	小売業 10名～29名	その他 起因物なし	事業場内で作業場に向かうとき、腹部大動脈瘤破裂により突然倒れ救急搬送されたが、搬送先の医療機関で死亡したもの。過重労働によるものとして労災認定された。
----	----	----------------	--------------	---

死亡事案の発生状況等の概要速報については、掲載内容は未確定のものであり、調査の進展とともにその変更（業務に起因しない場合における事案の削除を含む）を行う可能性があります。